



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

共同親権導入への議論が大詰めの日本。 今こそ大切にしたい「子どもの最善」の視点

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。



2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
56020Views
OTEMON VIEW編集部



2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
32914Views
OTEMON VIEW編集部



2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
31705Views
OTEMON VIEW編集部



2020.08.24 ことごとからだ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
21731Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

離婚後も父母の両方が子どもの親権を持ち続ける「共同親権」の導入に向けて、民法改正の要綱案が示されました。ただし「DVや虐待が存在した場合に離婚後も続くおそれがある」として反対意見が根強く、慎重な議論が必要です。家族社会学が専門の善積京子名誉教授が、離婚後の親権をめぐる日本の課題と、共同養育において先進的なスウェーデンの現状を解説します。

(以下は主なポイント)

現状の日本、離婚後の親権のあり方は

- 共同親権と単独親権について
- 何が問題？ 単独親権しか選べない日本の制度
- 社会問題化する「子ども連れ去り」

グローバルに考える親権。基本的視点は「子どもの最善」にあり

○日本も批准する国連「子どもの権利条約」と、世界で問われる親権のあり方

共同養育の先進国・スウェーデンに学ぶ、家族政策のこれから

- 両親が別れても「共同養育」が原則。スウェーデンの家族政策
- 「子どもの最善」を実行するため確立されてきたメソッド
- スウェーデンにおけるDVケースの扱いと、日本でも求められる慎重な議論

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/3184/>

共同親権導入への議論が大詰めの日本。今こそ大切にしたい「子どもの最善」の視点



この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 仲西・織田